



中央区 M 息子40代自閉症です。感染拡大により自閉生活になり、作業所やGHも利用できなくなりずっと家で過ごしていました。

テレビはどの番組もコロナの話ばかりで、どの程度状況が理解できているのか判りませんが、本人なりにコロナで大変な事になつていることを察したようです。

特に大きなパニックはありませんでしたが、家でゴロゴロして三度の食事とトイレの時だけ部屋から出るだけになりました。しばらくすると食事も自室に持ち込むようになりました。このままでは引きこもりになつてしまふと思いホームの職員に相談した結果、ホームの利用とヘルパーさんと外出の支援がけられるようになり少しホッとしました。

その後作業所も人数制限や出勤日数の調整はありますが、利用できるようになりました。

家には今も「うがい、手洗い、マスクをしましょ」「外出はなるべくしないようにしましょ」と貼り紙をしています。

就労移行A・B事業所は、休

岩槻区 K 全国的にコロナ感染人数の減少を感じた7月に、外出制限になりましたから生活とご本人の状態を会員さんに聞く時間が持てました。

岩槻区の生活介護事業所の殆どは、通常の支援と開所を続けていました。心配のある家族と本人については、通所せずに連絡見守りでの通所対応をしていました。しかし、手洗いとマスクについては嫌がる方もいて対応に苦慮されている方もいました。

入所施設については、帰宅が制限され、家族の出入りも禁止されました。ご本人へ細かな対応が出来ず、感染のリスクが高まる事へ心配が付きません。自主通勤できる方の悩みです。

居宅サービス事業所の一部は、移動支援を止めた所も出来ました。ご家族からも利用を控える声が上がっていました。密になるのを避けたい気持ちからです。会員さんに健康面での変化が無かった事は、とても嬉しく安心しました。変化に弱い仲間達の日常は、時間をかけての見守りが必要になると感じました。

地区の各事業所には、変わらぬ生活を維持して頂けた事に感謝しました。

Otsuka 大塚食品

原材料は、雪、雨、風、そして、シャスタという大地の力。人間だけでは決してつくれないものがある。

Power of Nature ここ、シャスタの山から。

## 災害時における避難所問題について

### \*さいたま市障害者協議会での会議で育成会からの意見

- ・昨年の台風で避難所に行ったが、その場所の職員が要配慮者の扱いが誰も分からず大変苦労した。
- ・要配慮者がいることを地域の自治会にしっかりと把握していただきたい。
- ・それに加えて今年はコロナ対策で避難者同士のスペース確保が必要になります。例年より場所の確保を多くした時早めにホームページに掲載してください。
- ・支援が必要な人が行かれる避難所をいくつかポイントで作っていただき受付で分かるようにして欲しい。



参考にしてください。

### \*さいたま市の防災ガイドブックに

- ・サポートが必要な要配慮者
- ・サポートのポイント<災害時>
- ・避難場所の種類と役割など細かく載っています。

東京の会社に勤務している三十五歳の息子は、三月三十日から五月末まで出勤停止になりました。家のこともしてもらつてはいましたが、明らかに時間を持て余していました。

六月から週二回出勤するようになり、七月からグループホームも再開され、やっと少しずつ以前の生活に戻りつつあります。とは言え、九月現在二日勤務して一日在宅と、完全に元の勤務形態に戻るのには時間がかかるかもしれません。人生には何があるかわからない、と実感しました。改めて自分の生活、息子の生活について考えさせられました。

次ページへづく

### コロナウイルス感染拡大による障害者の自閉生活

浦和地区 山口 明子 東京の会社に勤務している三十五歳の息子は、三月三十日から五月末まで出勤停止になりました。家のこともしてもらつてはいましたが、明らかに時間を持て余していました。

六月から週二回出勤するようになり、七月からグループホームも再開され、やっと少しずつ以前の生活に戻りつつあります。とは言え、九月現在二日勤務して一日在宅と、完全に元の勤務形態に戻るのには時間がかかるかもしれません。人生には何があるかわからない、と実感しました。改めて自分の生活、息子の生活について考えさせられました。

ヘルパーステーション ほっと 元浦和育成会が開設した事業所です。永年障害者の団体として活動を続けた経験を踏まえ、利用者の立場に立った心のこもった暖かいサポートを目指しております。

★居宅介護（ホームヘルプ）  
入浴・排泄・食事の介護など

★行動援護  
行動上著しい困難を有する知的障害者（児）精神障害者の外出の介護・危険回避のための援護

★移動支援（ガイドヘルプ）  
余暇活動など社会参加のための外出が安全かつ円滑に出来るよう、移動についての支援

★ヘルパー募集中

一般社団法人 飛躍 ヘルパーステーション ほっと さいたま市大宮区天沼町2-813 ☎ 048-649-5703